

第 19 回 放 送 番 組 審 議 会

◆開催日時：2013 年 3 月 21 日（木）11：00～13：00

◆開催場所：株式会社 JCN シティテレビ中野（JCN 中野）5 階会議室

◆出席者：委員 7 名＋JCN 中野 6 名＝計 13 名（敬称略）

委員 川島正英（元朝日新聞 論説委員）
八十島信行（オーエスエスブロードネット株式会社 顧問）
田辺裕子（中野区教育委員会 教育長）
涌井友子（週間とうきょう 主筆）
折原烈男（折原コーヒー株式会社 代表取締役）
長谷部智明（昭和新道商店街 会長）
酒井直人（中野区広報担当 副参事）

JCN 中野 西森英樹（代表取締役社長）
長田裕之（取締役 総務部長）
佐藤雅広（企画制作部 部長代理）
西井俊介（企画制作部 マネージャー）
鎌田弘樹（企画制作部 課長代理）
村田直哉（企画制作部 主任）

◆審議内容

開会にあたり、JCN 中野 西森英樹社長から以下の説明があった。

- ・番組審議会規定
- ・中野区との防災協定締結
- ・JCN グループを統括するジャパンケーブルネット(株)と(株)ジュピターテレコム (J:COM) の今秋合併

その後、議事説明と出席者紹介を経て、川島委員長の留任を決めた。

1. 2012/2013 年度新チャンネル紹介

JCN 中野 佐藤部長代理が新チャンネルの説明を行なった。

・2012 年度新チャンネル

- ①アジアドラマチック TV★HD (364ch)
- ②ジュエリー☆Gem Shopping TV HD (500ch)
- ③パチンコ★パチスロ TV! HD (977ch)

・2013年度新チャンネル

①Dlife（ディーライフ）（BS258ch）

また、ハイビジョン化を進めており、現在 77 チャンネルであることを伝えた。

2. コミュニティチャンネル（通称：コミチャン）について

JCN 中野 西井マネージャーから下記項目について説明があった。

2-1 2012/2013 年度番組紹介

<2012 年度番組紹介>

2012 年度から、外注をせず、全て内制化へ切り替えた。理由は、区民のニーズを探り、それに応えるには自ら制作するのが最善と考えたから。そして、次の 2 点について注力した。

- ①災害報道番組（中野区との防災協定に基づく体制作り）
- ②参加型番組（区民リポーターや区民投稿ビデオの募集、視聴者参加の演出）

②については、「コミチャンPJチャンネル⑩」での投稿ビデオ放送、「中野にぎわいフェスタ特番」や「クリスマス特番」での生中継参加が挙げられる。さらに、新たな視聴者を開拓すべく立ち上げた「ブルック隊長のチビッコくらぶ」では、多くの乳幼児とママに出演してもらった。

<2013 年度番組紹介>

区民から見た中野の新たな発見や情報を紹介する新番組「なかの！大好き！コミチャン放送部」を 4 月から放送。

具体的には、2012 年 6 月に誕生した中野区観光大使を起用してグルメやお出かけスポットを紹介するほか、区民の皆さんがお薦めする場所やお店を投稿ビデオで募集して放送する。

2-2 2013 年度コミュニティチャンネル編成

区民の皆さんから「見たい番組がいつ放送されているか分からない」との声をよく聞く。そこで、4 月改編では、時間帯でジャンルを設定して、番組表を覚えてもらい易くする工夫をした。特に、18 時以降を下記の通り、明確にした。

- ①18:00～20:00 中野区の情報（行政/イベント/商店街等）に特化したゾーン
- ②20:00～22:00 東京近郊の散策番組ゾーン
- ③22:00～23:30 スポーツとバラエティのゾーン

2-3 第 2 コミュニティチャンネル説明

従来の第 1 コミュニティチャンネル（JCN 中野チャンネル〔地デジ 11ch〕）は中野発の情報を中心にお届けしているチャンネル。一方、2012 年 10 月からス

スタートした第2コミュニティチャンネル（にっぽんケーブルチャンネル〔地デジ10ch〕）は全国各地からの情報を提供するチャンネル。具体的には、全国のケーブルテレビ局が制作したその地元ならではの番組を集めて、中野在住の地方出身の皆さんにふるさとの風景に再会、かつ全国各地の魅力を発見してもらうことを狙いとしている。

3. その他

JCN 中野 西森英樹社長が以下の新サービスの説明を行なった。

2012年12月から新サービス「JCNスマートテレビ」を開始。

このサービスは、STB（多チャンネルを視聴するためのCATVチューナー）にスマートフォンの機能を追加したようなもの。

具体的には、現在自宅でお使いのテレビで、次のサービスが利用可能となる。

- ①カラオケ・ゲーム・医療など、娯楽・安心・便利等のアプリ
- ②月額390円のauスマートパスを契約すれば、約100種類のアプリ（スマホでauスマートパスを契約済みなら、追加料金不要）
- ③VOD（コミュニティチャンネルで放送した自社制作番組の見逃し視聴にも対応）
- ④Wi-Fi AP
- ⑤専用タブレットのリモコン化・セカンドテレビ化
- ⑥「JCNスマートテレビ」の契約者同士なら、相互に利用履歴を把握できるので、例えば、離れて暮らす家族間の安否確認など。

【質問】（田辺委員）

- ①子育て応援番組「ブルッケ隊長のチビッコくらぶ」の構成は中野区医師会が作っているのか？
- ②出演している先生は区内の医師か？

【回答】（西井）

- ①構成はJCN 中野で作っているが、その内容は医師会にチェックしてもらっている。
- ②中野区内の医師。収録は、医師会館が毎月第4木曜に開催している子育て講義に合わせて実施している。同講義への参加者は、番組開始前は約40人だったが、番組開始後は約100人となり多くの親子から関心を持たれている。

【質問】（八十島委員）

JCNスマートテレビの安否確認はどの範囲で利用可能か？

【回答】（西森）

安否確認はJCNグループ内で利用可能。

【意見】（八十島委員）

子育て番組だけでなく、高齢者向けの番組も制作して欲しい。例えば、介護団体と一緒に番組を制作してはどうか。

【意見】（長谷部委員）※下記の点についてご意見があった。

① につぼんケーブルチャンネル

同チャンネルの試みは素晴らしいと思う。なぜなら、自分の知人がテレビに出ると番組視聴につながるが、同様にふるさとの番組が放送されると視聴につながるだろうから。

② 新番組「なかの！大好き！コミチャン放送部」

同番組については、これから中野に来る方・住む方向けに新鮮で面白い内容にして欲しい。観光大使の起用も良いが、地元のエキスパートが直接話した方が説得力が増すと思う。観光大使がレポートするなら、勉強し自分が理解したうえで伝えてほしい。

③ 4月改編

同改編における時間帯分けも良い試みだと思う。コミチャンの番組表はJCN中野のHPでは分かり辛い。そこで、この試みに加え、中野区の最大層は25歳～35歳なので、JCN中野用のスマホ対応アプリを開発して情報発信してはどうか。

④ テレビ離れ

最近テレビが使い辛くなってきており、それがテレビ離れの原因になっているのではと感じている。リモコンが最たるもので、地デジ・BS・CS等のボタンを使いこなせていない人がいる。ボタン1つでアクセス、視聴できるようにして欲しい。

⑤ 中野にぎわいフェスタ中継

同イベントの面白さ、楽しさを伝えるだけでなく、JCN中野も一体となって取り組んで欲しい。

⑥ 区議会中継

内容を踏まえて、視聴者に興味を持ってもらえるように番組に強弱を付けて欲しい。

【回答】（佐藤）

区議会中継については、平等の原則があり、議員一人当たりの放送時間を一定にすべしというフォーマットが定められている。但し、ニュース番組「デイリー中野」ではテーマによって強弱を付けている。

【意見】（田辺委員）区議会中継における強弱の付け方は、JCN中野の判断だけでなく、区議会の意向も尊重しなければならないという事情がある。JCN中野から同中継のあり方について問題提起してみてもどうか。

【意見】（涌井委員）区議会中継の一般質問は面白くない。採択の方が面白い。

また、テレビのリモコンの使い方が分からない。リモコンが複数台になっている

て覚え切れないので、簡単な操作にして欲しい。

【質問】（折原委員）

- ①今年1月の大雪以降、コミチャンが見られなくなった。
- ②開局当初は取材先に放送日時がメモで渡されていたが、現在は無くなっている。是非放送日時を教えて欲しい。

【回答】（西森）

- ①今年1月の大雪の影響で、JCNグループ全体で全チャンネルに障害が出た。また、風の影響で中野区内の一部エリアで障害が発生した。しかし、現在は復旧している。

【回答】（西井）

- ②現在も放送日時をメモで渡しているが、主催者（代表者）のみ。今後、主催者の会場等にチラシを貼ってもらったり、可能な限り取材関係者へ放送日時を伝えたりするよう努める。

【意見】（八十島委員） ※下記の点についてご意見があった。

- ①毎月発行しているJCNプラス（会員誌）の中に、放送日時や問合せ先を分かり易く記載すべき。
- ②コミチャンで店舗紹介する際は、いきなり店舗から入るのではなく、周りとの位置関係が分かるように見せて欲しい。加えて、紹介した店舗を見直せるようJCN中野のHPに当該店舗の情報を載せるなど、ネットでのフォローをして欲しい。
- ③中野区は住んでよかった街No.1とのこと（株式会社角川マガジズ発行の東京ウォーカー「2011年住みたい街ランキング」より）。そのことを伝える番組を制作して、第2コミチャンの「にっぽんケーブルチャンネル」で放送して欲しい。そうすることで、全国から多くの方が中野に集まってくれと嬉しい。

【意見】（川島委員長）

コミチャンという独自チャンネルがあることは素晴らしいこと。そのコミチャンは「アマチュアリズム」と「地域密着」という視点で捉えることができるが、前者について苦言を呈したい。

例えば、観光大使を起用した新番組については、洗練されたものにして欲しい、ローカルだからこれぐらいで良いということにすべきでない。また、Xmas 特番「クイズ de ゲット」は番組として熟していなかった。出演者に地域のことを学ばせるべきだし、賞品の渡し方などはくどい演出になっていた。それらを改善しないと、視聴者から見て幼いイメージに映ってしまう。

【質問】（長谷部委員）

地震や災害等の情報源は？

【回答】（西森）

最大の情報源は区役所である。

【意見】（長谷部委員）

東日本大震災後に計画停電があった際、区民は JCN 中野を見たはずだ。だから、地震・台風などの際には必ず JCN 中野にチャンネルを合わせてもらえるように放送すべき。

【意見】（八十島委員）

交通情報も重要な差別化となるだろう。

【回答】（西森）

JR 中野駅や西武線の駅に JCN 中野のカメラを付けさせてもらいたいと考えている。

【意見】（涌井委員）

1月の大雪の際にはバスが走っていなかったため、区内の交通情報は必要だ。

【意見】（川島委員長）

中野四季の都市（まち）には大学3校が進出するので、学生と連携した番組作りを検討してはどうか。

【回答】（西森）

大学には映画サークルがあるので連携を検討したい。

【意見】（酒井委員）

帝京平成大学には映像学科（人間文化学科 メディア文化コース）があるはずなので、連携してはどうか。

【回答】（西森）

グループ局の JCN 日野は、大学本体と連携し、ゼミの中で番組制作をしている実績がある。JCN 中野も同様のことをやりたいと考えている。

【意見】（川島委員長）

生涯学習の教室と連携して番組作りができるのではないかと。

【意見】（八十島委員）

過去の生涯学習のテーマとして、教育支援、発達障害、モンスターペアレンツ等のテーマを取り上げたことがある。

【回答】（長田）

中野では「中野まち記者養成講座」が開講されていることから、今後、区民からの投稿ビデが期待できる。

【回答】（西井）

次回の講座は4月3日に開講。今回はグーグルと一緒に講義を行い、You Tubeへの動画アップに加え、制作したコンテンツをJCN中野のコミチャンでも放送する予定。今後、民生機（市販の一般的なビデオ機器）だけでなく、ケータイやスマートフォンによる投稿ビデオも募集したい。

【回答】（西森）

機器の性能が向上しているので、上記の取り組みが広がれば、区内の協力者が増えると考えている。

閉会にあたり、JCN中野西森社長から、各委員から頂いたご意見を踏まえて、区民の皆様へ安心・楽しみ・便利等をお届けできるコミチャンを目指すこと、さらに今後も忌憚のないご意見を頂戴したいとの考えが示された。

以上